

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 01 雇用の創出と雇用環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
労働者 企業	雇用が創出されるとともに、労働者の福利厚生が充実しています。

施策の成果状況と評価

指標①	有効求人倍率（年平均）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	倍	1.07	1.26	1.20	➔
評価	<p>(状況) 有効求人倍率（年平均）は、1.20倍となっており、前年度と比較すると0.06ポイント減少しましたが、総合計画基準値（H28）と比較すると0.13ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 全国的に人手不足となっており、活発な経済活動に伴い企業からの求人が多く、倍率が上昇していると考えられます。ただし最近では低下傾向が見られます。</p>						目標 達成度
							👑 (達成)

指標②	雇用保険受給者実人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	人	5,537	4,613	4,939	➔
評価	<p>(状況) 雇用保険受給者実人数は、4,939人となっており、前年度と比較すると326人増加しましたが、総合計画基準値（H28）と比較すると598人減少し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 事業所の閉鎖などによる離職者があったものの、企業の求人意欲が旺盛なため再就職が順調に進んでいることから、雇用保険受給者が減少にあるものと考えられます。</p>						目標 達成度
							👑 (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進

基本事項 02 雇用の確保

基本事項 03 労働者福利厚生の充実

基本事項01 企業誘致の推進

指標①	市内立地企業数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	社	3	7	9	9	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場設置届出書によると、市内立地企業数（累計）は9社であり、前年度から2社増加しています。また、総合計画基準値（H28）と比較すると6社増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 全国トップクラスである本市の企業立地支援制度の周知及び国の制度である「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」制度の利活用が図られたことによるものです。</p>						☀ 目標 達成度
		☀ (達成)					

基本事項01 企業誘致の推進

指標②	市内立地企業による雇用数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	人	38	158	221	114	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場設置届出書の雇用計画によると、市内立地企業による雇用数（累計）は221人であり、前年度から63人増加しています。また、総合計画基準値（H28）と比較すると183人増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 全国トップクラスである本市の企業立地支援制度の周知及び国の制度である「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」制度の利活用が図られたことによるものです。</p>						☀ 目標 達成度
		☀ (達成)					

基本事項02 雇用の確保

指標①	市主催就職支援事業による就職者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	人	33	23	14	37	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 市主催就職支援事業による就職者数は14人で、前年度と比較すると9人減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると19人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 全国的な売り手市場であることから企業の求人活動が活発であり、通常の就職活動による就職が容易になっていることが要因と考えられます。</p>						☔ 目標 達成度
		☔ (低)					

基本事項02 雇用の確保

指標②	ハローワーク須賀川における就職率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	%	40.1	42.0	40.2	→	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川における就職率は40.2%で、前年度と比較すると1.8ポイント減少しましたが、総合計画基準値（H28）と比較すると0.1ポイント増加し、横ばいです。</p> <p>(原因) 全国的な人手不足から増加傾向となっていました。令和元年度は経済の先行きに不透明感が出てきたことや台風第19号などの影響から低下したものと考えられます。</p>						☁ 目標 達成度
		☁ (低)					

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進
基本事項 02 雇用の確保
基本事項 03 労働者福利厚生の実施

基本事項03 労働者福利厚生の実施

指標①	勤労者互助会の加入者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	評価	【商工課】	人	221	204	206	250

(状況) 勤労者互助会の加入者数は206人で、前年度と比較すると2人増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると15人減少し、順調ではありません。  
(原因) 一部の事業所で多くの従業員が退会されたほか、互助会の事業について知らない方や加入要件に該当せず加入できない方がいることも考えられます。

年度	加入者数
H28	221
H29	230
H30	204
R01	206
R04	250

基本事項03 労働者福利厚生の実施

指標②	勤労者福利厚生施設利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	評価	【商工課】	人	14,594	12,927	13,625	19,000

(状況) 勤労者福利厚生施設利用者数は13,625人で、前年度と比較して698人増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると969人減少し、順調ではありません。  
(原因) 対象施設である勤労青少年ホームにおいて利用者が減少傾向であり、利用者が社会教育施設等を利用していることが考えられます。

年度	利用者数
H28	14,594
H29	12,927
H30	13,625
R04	19,000

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
農業者	農業経営の効率化により、農業所得の安定・向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	1戸当たりの農業所得	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【農政課】	千円	563	499	469	→
評価	<p>(状況) 1戸当たりの農業所得は469千円で、前年度と比較すると30千円減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると94千円減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 本市農業は水稻が中心であるため、米の価格や収穫量が農業所得へ大きな影響を及ぼします。令和元年度は、秋の農作物収穫期に台風第19号の豪雨災害を受け農作物出荷量が減少したため、個々の農業所得が低下したと考えられます。</p>	<p>(千円)</p>					目標 達成度  ■ ■ ■ (低)

指標②	農産物の売上高 (JA)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【農政課】	百万円	4,453	4,983	4,876	→
評価	<p>(状況) 農産物の売上高 (JA) は4,876百万円で、台風第19号の影響もあり前年度と比較し、107百万円減少していますが、総合計画基準値(H28)と比較し423百万円向上しており、順調です。</p> <p>(原因) 風評被害に対する安全・安心のPR効果により、消費者の理解が得られたこと等により売上高が増加したと考えられます。</p>	<p>(百万円)</p>					目標 達成度  ■ ■ ■ (高)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
- 基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全
- 基本事項 03 農業経営の安定確保
- 基本事項 04 特産農産物の生産振興
- 基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標 ①	認定農業者率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	%	7.4	7.7	7.2	9.3	
評 価	基準値は、2015（H27）年に取得した数値です。						☁️ (横ばい)
	<p>(状況) 認定農業者率は7.2%で、前年度と比較すると0.5ポイント減少し、総合計画基準値（H27）と比較すると0.2ポイント減少し、ほぼ横ばいです。</p> <p>(原因) 国・県の各種施策は、認定農業者を対象要件とするものに転換しており、経営の規模拡大等を計画する意欲的農業者は、認定農業者の認定を受け農業所得の向上を目指す一方で、経営規模の維持、縮小を考えている農業者は、高齢化や認定メリットが希薄であることを理由に、認定を更新しないなどから、農業者数全体に対する認定農業者数割合が横ばいで推移していると考えられます。</p>						目 標 達成度
							■■■ (低)

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標 ②	担い手への農地利用集積面積（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	ha	1,865.0	3,061.3	3,173.4	2,200.0	
評 価	<p>(状況) 担い手への農地利用集積面積（累計）は3,173.4haで、前年度と比較すると112.1ha増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると1,308.4ha増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 森宿・前田川の基盤整備事業に伴い、地域の農業担い手に農地の集積が進められています。</p>						☀️ (向上)
							目 標 達成度
							🏰 (達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標 ①	耕作放棄地面積（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	ha	482	535	531	458	
評 価	<p>(状況) 耕作放棄地面積（累計）は531haで、前年度と比較すると4ha減少しましたが、総合計画基準値(H28)と比較すると49ha増加しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 旧市内、稲田、大東、小塩江、長沼地域において農業従事者の高齢化や担い手不足、条件が悪く、受け手（借り手）が見つからないなどを理由に耕作放棄地が増加していると考えられます。</p>						☔️ (低下)
							目 標 達成度
							■■■ (低)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標 ②	基盤（ほ場）整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【農政課】	%	48.9	49.8	49.9	50.3	
評 価	<p>(状況) 基盤（ほ場）整備率は49.9%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると1.0ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 県営土地改良事業の「前田川地区」及び「森宿地区」の整備が順調に進んでいるためです。</p>						☁️ (横ばい)
							目 標 達成度
							■■■ (中)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標③	農村環境保全取組面積率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	40.4	44.9	45.3	43.7	(向上)
評価	(状況) 農村環境保全取組面積率が45.3%で、前年度と比較すると0.4ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.9ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 多面的機能支払交付金事業の普及活動により、活動組織数が平成28年度の39組織から44組織に増加し、取組面積が増加しているためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標④	各種補助により生産施設等を整備した件数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	件	18	29	30	38	(向上)
評価	(状況) 各種補助による生産施設等を整備した件数 (累計) は30件で、前年度と比較すると1件増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると12件増加しており、順調です。 (原因) 県補助事業によるキュウリのパイプハウス等の施設を平成30年度に8件導入する等、件数は順調に増加しています。なお、令和元年度の件数が1件であったのは令和2年度に産地パワーアップ補助事業によるパイプハウス等施設の大規模導入が予定されているためと考えられます。						目標達成度
							(中)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標①	水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	562	406	304	620	(低下)
評価	(状況) 水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数) は304人で、前年度と比較すると102人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると258人減少しており、順調ではありません。 (原因) 平成30年度から米の生産数量調整目標値が廃止されたことに伴い、生産規模が小さい農業者を中心に飼料用米から主食用米へ転換したことにより減少したものと考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標②	収入減少対策に加入している農家数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	274	251	266	300	(低下)
評価	(状況) 収入減少対策に加入している農家数は266人で、前年度と比較すると15人増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると8人減少しており、順調ではありません。 (原因) 米の価格が上昇傾向にあることや、収入保険とナラシ対策に加入できる認定農業者数が減少しているため、米・畑作物の収入の減少対策に加入する農家数が減少したと考えられます。						目標達成度
							(低)



□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項03 農業経営の安定確保

指標③	キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	27.4	44.9	47.5	30.0	(向上)
評価	(状況) キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）は47.5haで、前年度と比較すると2.6ha増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると20.1ha増加しており、順調です。 (原因) 平成29年度から開始したネコブセンチュウ対策の周知が図られたことにより、病害虫防除対策をする農業者が前年度と比較し10名増加し、防除面積も2.6ha増加しました。						(達成)
							目標達成度

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標①	代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	5,380	5,270	5,057	→	(低下)
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量は5,057tで、前年度と比較すると213t減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると323t減少しており、順調ではありません。 (原因) 高齢化による農家戸数・作付面積の減少に伴い、生産量・出荷量も減少したと考えられます。						(低)
							目標達成度

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標②	代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	1,200	1,156	977	→	(低下)
評価	(状況) 代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量は977tで、前年度と比較すると179t減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると223t減少しており、順調ではありません。 (原因) 原発事故の風評被害により直売からJA出荷に切り替える農家が増加しており、直近3年間ではJAからの出荷量が増加傾向にありましたが、昨年度は黒星病など、病害虫の発生や雨不足による肥大不足により出荷量が前年度と比較して179t減少しました。						(低)
							目標達成度

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標①	代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	百万円	1,563	1,885	1,583	→	(向上)
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額は1,583百万円で、前年度と比較すると302百万円減少しましたが、総合計画基準値（H28）と比較すると20百万円増加しており、順調です。 (原因) 対前年度で302百万円と大幅な減額となっておりますが、平成30年度は、広島豪雨災害により関西圏キュウリの出荷量が落ち込んだことから販売単価の大幅な上昇が販売額の増加の要因であり、令和元年度は、国内全体の供給量減少から販売単価が高値取引となっており販売額の推移は、順調に推移しています。						(低)
							目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標 ②	代表的な特産農産物日本ナシのJA販売額	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき												
	【農政課】	百万円	282	293	288	→	☀ (向上)												
評価	<p>(状況) 代表的な特産農産物のJA販売額(日本ナシ)は288百万円で、前年度と比較すると5百万円減少しましたが、総合計画基準値(H28)と比較すると6百万円増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 日本ナシの旬を迎える時期が、関東地方から東北地方へと産地リレーが順調に進んだことや、kg当たりの販売単価が上昇したことで販売額が増加したと考えられます。</p>	<p>(百万円)</p> <table border="1"> <caption>販売額推移表 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>348</td> </tr> </tbody> </table>					年度	販売額	H28	282	H29	288	H30	293	R01	288	R04	348	目標 達成度
		年度	販売額																
H28	282																		
H29	288																		
H30	293																		
R01	288																		
R04	348																		
							■ ■ ■ (低)												



政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内商工業事業所	市内商工業の振興が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	経営状況が良いと感じている事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
①	【商工課】	%	18.1	16.7	19.6	→	☀ (向上)
評価	(状況) 経営状況が良いと感じている事業所の割合は19.6%で、前年度と比較すると2.9ポイント増加しました。また、総合計画基準値(H28)と比較すると1.5ポイント増加しており、成果は向上しています。 (原因) 世界的な経済の好調が続いており、地域経済にも良い影響が続いているものと考えられます。						☀ (向上) 目標達成度 ■■ (高)
指標	収益が増加した事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
②	【商工課】	%	18.9	23.0	20.6	→	☀ (向上)
評価	(状況) 収益が増加した事業所の割合は20.6%で、前年度と比較すると2.4ポイント減少しましたが、総合計画基準値(H28)と比較すると1.7ポイント増加しており、成果は向上しています。 (原因) 製造業などで収益が増加しており、人手不足に対応した生産の省力化や効率化に伴う設備投資が図られるなど、生産性向上に取り組んでいることなどが原因と考えられます。						☀ (向上) 目標達成度 ■■ (高)
指標	雇用調整を実施した事業所の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
③	【商工課】	%	6.2	5.9	4.5	→	☀ (向上)
評価	(状況) 雇用調整を実施した事業所の割合は4.5%で、前年度と比較すると1.4ポイント減少しました。また、総合計画基準値(H28)と比較すると1.7ポイント減少しており、成果は向上しています。 (原因) 景気の好況が続いていることから各事業所においても好調な業績が続いていることから人手不足となっている企業が多い影響によるものと考えられます。						☀ (向上) 目標達成度 ■■ (中)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 商業の振興
- 基本事項 02 工業の振興
- 基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項01 商業の振興

指標 ①	市内卸売・小売業年間売上高	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	百万円	131,450	-	-	➔	
評 価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。	(百万円) 					---
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和2年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、大規模小売店舗の設置が進んだことなどにより、順調に目標値に向かっていると推測されます。						目 標 達 成 度

基本事項01 商業の振興

指標 ②	市内卸売・小売業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	店	623	-	-	➔	
評 価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。	(店) 					---
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和2年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、大規模小売店舗の設置が進んだことなどにより、順調に目標値に向かっていると推測されます。						目 標 達 成 度

基本事項01 商業の振興

指標 ③	市内卸売・小売業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	人	4,355	-	-	➔	
評 価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。	(人) 					---
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和2年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、大規模小売店舗の設置が進んだことなどにより、順調に目標値に向かっていると推測されます。						目 標 達 成 度

基本事項02 工業の振興

指標 ①	市内製造品出荷額等	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【商工課】	百万円	172,527	170,558	168,496	➔	
評 価	基準値は、2014（H26）年に取得した数値です。	(百万円) 					☔ (低下)
	(状況) 市内製造品出荷額等は168,496百万円で、前年度と比較すると2,062百万円減少し、総合計画基準値（H26）との比較も4,031百万円減少しており、順調ではありません。 (原因) 市内企業の多くは、中小企業・小規模企業であり、取引企業との需給関係や社会経済状況等による事業の統廃合などにより減少しているものと考えられます。						目 標 達 成 度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興
基本事項 02 工業の振興
基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項02 工業の振興

指標②	市内工業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	社	172	163	158	→	☂ (低下)
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。 (状況) 市内工業事業所数は158社で、前年度と比較すると5社減少し、総合計画基準値 (H26) との比較も14社減少しており、順調ではありません。 (原因) 市内企業の多くは中小企業・小規模企業であり、取引企業との需給関係や社会経済状況等による事業の統廃合、さらには、事業者の後継者問題、全国的な労働力不足などにより減少しているものと考えられます。					目標達成度 ■■■ (低)	

基本事項02 工業の振興

指標③	市内工業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	6,964	6,960	6,852	→	☂ (低下)
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。 (状況) 市内工業事業所従業員数は6,852人で、前年度と比較すると108人減少し、総合計画基準値 (H26) との比較も112人減少しており、低下している状況です。 (原因) 市内企業の多くは、中小企業・小規模企業であり、取引企業との需給関係や社会経済状況等による事業の統廃合、さらには、事業者の後継者問題、全国的な労働力不足から、減少したものと考えられます。					目標達成度 ■■■ (低)	

基本事項03 中心市街地の活性化

指標①	市内中心部における平日歩行者通行量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人/日	2,026	2,588	2,573	2,700	☀ (向上)
評価	(状況) 市内中心部における平日歩行者通行量は2,573人で、前年度と比較すると15人減少していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると547人増加しており、成果は向上しています。 (原因) 市庁舎の開庁や市民交流センターの開館などにより、中心市街地への来街者が増加したと考えられます。					目標達成度 ■■■ (高)	

基本事項03 中心市街地の活性化

指標②	商店会等加盟店舗数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	店舗	161	165	160	165	☂ (低下)
評価	(状況) 商店会等加盟店舗数は160店舗で、前年度と比較すると5店舗減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1店舗減少しており、順調ではありません。 (原因) 新規出店はありますが、それ以上に閉店し、商店会を脱退する店舗が多かったためと考えられます。					目標達成度 ■■■ (低)	

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 04 観光振興と交流促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
須賀川市に訪れる人	須賀川市を訪れ滞在する人が増加します。

施策の成果状況と評価

指標①	平日14時に本市に滞在していた人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【観光交流課】	人	56,786	55,983	55,493	58,500
評価	<p>(状況) 国の地域経済分析システム (RESAS) によると、平均滞在人口 (4月～6月平均) は55,493人です。なお、総合計画基準値 (H28) は1年間の平均、H29年度以降の実績値は4月から8月の平均です。県外からの来訪者は、宮城県が1位、次いで東京都、神奈川県、埼玉県、栃木県となっています。</p> <p>(原因) RESASでは来訪目的が不明ですが、1月にオープンした市民交流センターの視察・見学やビジネスでの来訪が考えられます。</p>	<p>(人)</p>					☁️ (横ばい)
		■ (低)					

指標②	休日14時に本市に滞在していた人数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【観光交流課】	人	58,598	58,685	59,074	60,400
評価	<p>(状況) 国の地域経済分析システム (RESAS) によると、平均滞在人口 (4月～6月平均) は59,074人です。なお、総合計画基準値 (H28) は1年間の平均、H29年度以降の実績値は4月から8月の平均です。県外からの来訪者は、東京都が1位、次いで宮城県、埼玉県、神奈川県、栃木県となっています。</p> <p>(原因) RESASでは来訪目的が不明ですが、観光が主な理由と考えられます。</p>	<p>(人)</p>					☁️ (横ばい)
		■ (低)					

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 観光誘客の推進
- 基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
- 基本事項 03 空港利活用の促進
- 基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項01 観光誘客の推進

指標①	観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	1,235,234	1,247,266	1,333,985	1,500,000	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数は1,333,985人で、前年度と比較し86,719人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較し98,751人増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 東日本大震災の復旧工事により一時的に観光入込客数から除外されていた、藤沼湖自然公園について、復旧工事の完了に伴い、観光入込客数72,059人の集計を再開したことが主な要因です。また、首都圏や友好都市でのPR活動、メディアによる積極的なPRを行い、市の認知度向上に努めたことや、7年間継続して実施しているウルトラマン関連事業が全国的に浸透してきていることも増加要因と考えられます。</p>	(人)					☀️ (向上)
							■■■ (低)

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標①	都市間交流補助事業の活用団体数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	団体	3	2	2	8	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 都市間交流補助事業の活用団体数は2団体で、前年度と同数ですが、総合計画基準値 (H28) と比較し1団体減少しました。</p> <p>(原因) 本市と交流のある都市で行われるイベントや行事の情報を的確に発信できなかったため、市民レベルでの交流が停滞したと考えられます。また、新型コロナウイルスの影響により交流事業を中止した団体もありました。</p>	(団体)					☔️ (低下)
							■■■ (低)

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標②	国際交流に関心がある市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	%	42.2	40.6	-	➡️	---
評価	<p>(状況) 国際交流に関心のある市民割合は、実績値を2年に1度実施するアンケートによる取得としているため、実績値は取得できていません。ただし、福島空港における国際チャーター便の就航や東京オリンピックの開催などにより、外国人との交流に対する市民の関心度は高まっていると推測されます。</p>	(%)					---
							---

基本事項03 空港利活用の促進

指標①	福島空港の利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	247,706	267,356	259,721	➡️	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 福島空港の利用者数は259,721人で、前年度と比較し7,635人減少しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると12,015人増加しました。搭乗率で見ると、札幌便が64.2%から63.6%に、大阪便が59.0%から57.3%に、それぞれ減少しています。チャーター便については、国内線が83便から55便に減少しましたが、国際線が146便から174便に増加しています。</p> <p>(原因) 国際チャーター便の運航が大幅に増加したことや、空港利用助成制度の活用が図られたことなどで好調でしたが、令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が激減したことが、全体の利用者減につながったと考えられます。</p>	(人)					☀️ (向上)
							■■■ (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進
基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
基本事項 03 空港利活用の促進
基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項03 空港利活用の促進

指標②	本市事業を活用した福島空港利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	493	414	479	700	(横ばい)
評価	<p>(状況) 本市事業を活用した福島空港利用者数は479人で、前年度に比べ65人増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると14人減少しました。</p> <p>(原因) 令和2年3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響で申請件数が減少したものの、本事業を活用して関西や四国、沖縄方面など、大阪便を利用する人が増加したことが要因と考えられます。</p>						目標達成度
		(低)					

基本事項04 観光施設の適切な維持管理

指標①	観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	84,610	161,539	150,896	95,000	(向上)
評価	<p>(状況) 観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数は150,896人で、前年度と比較し10,643人減少しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較し66,286人増加しており、目標値を達成しています。なお、観光施設の指定管理者導入施設については、4施設となりました。</p> <p>(原因) 指定管理導入施設が、平成29年度から1施設増加したことが主な原因です。また、各施設において民間のノウハウを十分に生かした経営と利用者へのサービス向上を図ってきた成果が表れていると考えられます。なお、令和元年度については、台風第19号災害の影響により施設利用者数が減少したものと思われる。</p>						目標達成度
		(達成)					